

「とちぎの共創型実践技術者」の育成



将来にわたり本県の工業を支えていける地域人材を育成するため、これまでの専門分野ごとの工業教育の知識・技能だけでなく、新しい価値を生み出せる思考プロセスを備えた、「とちぎの共創型実践技術者」を育成するための取組を実施し、その効果を検証する。



令和3年度の目標

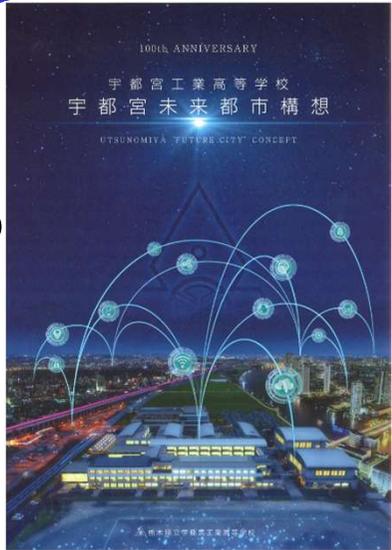
- システム思考・デザイン思考能力の向上
- 技術経営(MOT)に関する知識の向上
- 知的財産に関する知識の向上
- M2Mに関する知識の向上
- リスクマネジメント対応能力の向上
- 技術英語活用能力の向上

【育成を目指す資質・能力】

未知の状況にも対応できる
「思考力、判断力、表現力等」
の育成

取組状況

- ★ システム思考・デザイン思考を活用した課題研究(宇都宮未来都市構想等)
- ★ 課題解決型インターンシップ



成果と課題

Society5.0時代の地域産業を支える技術者に必要な6つの「知識」や「能力」を講義や実習から育成した。特に、課題解決のアイデアを生み出す思考法の活用やPBL型学習により、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の自信を深められた。3年間の取組により、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、共創型実践技術者として必要な豊かな人間性が身に付いた。生徒・教員はよりよい社会の構築を目指して自ら学ぶ主体性と対話的で深い学びを充実させた。今後さらに実践を経て学習プログラムを深化させる。